

令和2年7月豪雨の被災地で支援をされている 介護従事者の皆様へ

日頃から本県の福祉行政の推進について、格別の御協力をいただいておりますことを厚く御礼申し上げます。

本県におきましては、令和2年7月豪雨により、高齢者の方を含め多くの方が被災され、今なお困難な生活を余儀なくされておられます。

皆様におかれましては、介護が必要な高齢者の生活を守るため、全力で被災地支援に取り組んでいただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、県外からの応援が見込めない中、御自身が被災されながらも、支援に取り組まれている方もいらっしゃるお聞きしており、重ねて感謝申し上げます。

感染症対策を講じながらの被災地支援であり、その中で「感染症を出さない、出させない」との強い思いのもと、支援活動を続けられているものと考えており、皆様の御活動には非常に頭が下がる思いです。

県としましても、令和2年7月豪雨災害と新型コロナウイルス感染症への対応という二つの困難を、皆様とともに乗り越えられるよう、できる限りの支援を行って参りますので、引き続き、御理解と御協力をお願い申し上げます。

熊本県健康福祉部長寿社会局

高齢者支援課長 篠田 誠

